



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

# 加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)  
Action(行動・活動)  
Kindness(親切・思いやり)  
Open-minded(広い心・偏見のなさ)  
Growth(成長・発展)  
Appreciation(感謝・正しい評価)  
Wellness(心身の健康・生活のバランス)  
Answer(答えを見出す)

## 加古川中学校の未来を自分たちの手で！生徒総会を実施



5月28日(木)の午後、体育館にて本年度の生徒総会が開催されました。

総会では、本年度の生徒会スローガン「開天闢地(かいてんへきち)」、重点目標「誰もが輝ける場所づくり」「失敗を恐れず挑戦する」「助け合い、ともに支える」を確認し、その後、生徒会本部や各執行委員会から提案された年間活動計画などが提案され、拍手多数によりすべての議案が承認されました。

質疑応答の場面では、各クラスの代表者から学校生活をより良くするための前向きな質問や要望が相次ぎ、全校生徒が当事者意識を持って真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。加古

川中学校における学校生活は、一人ひとりが「学校の主役」です。今回決まった方針をもとに、全校生徒で力を合わせ、より素晴らしい中学校を築いていくことを期待しています。



## 思い描こう 自分の未来地図 6月1日(月)～5日(金)

来週から2年生の「トライやる・ウィーク」が始まります。地域の様々な事業所のご協力のもと、5日間にわたり学校を離れて体験活動に挑戦する兵庫県ならではの伝統的なキャリア教育の取り組みです。

加古川中学校では、この活動を単なる「職業体験」にとどめず、生徒たちが「自己の生き方を見つめ、将来の社会的・職業的自立に向けた基盤を培う」重要なキャリア教育の貴重な機会と位置づけています。

本物の現場で味わう緊張感、多様な世代の方々とのコミュニケーション、そして自分の仕事が誰かの役に立つ喜びや責任感は、教室の授業だけでは決して得られない貴重な学びです。活動中、慣れない環境で失敗したり、壁にぶつかったりすることもあるでしょう。それこそがキャリア発達における大切なプロセスです。思い通りにいかない経験を通して、自分の得意なことや課題に気づき、「主体的に選択し、行動する力」を磨いてください。

金曜日の事前指導で、校長先生から2年生に、この5日間で大切にしてほしいポイントを伝えました。前日の生徒総会でもお願いしたので、覚えてくれていた生徒もいました。感謝しています。本当にありがとうございます。

話の中で問いかけたように、今の自分の行動は、目標とする自分に近づいていますか？ それとも、思わぬ方向にいませんか？ 心が揺れ動くのが中学校時代ですが、なりたい自分に近づくために努力することはとても大切です。人と比べるのではなく、自分の可能性に挑戦してください。以下の3つの「あ」も追加しておきます。

- ①「あいさつを大切に」 あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉！
- ②「あきらめずにやり抜く」 仕事にはすべて「意味」があります。地味な作業の先に成長のチャンスがあります！
- ③「あんぜん(安全)第一」 活動中はもちろん、行き帰りの交通ルールを守ることも忘れずに！

このトライやる・ウィークは兵庫県の中学2年生だけが体験できる、特別な5日間です。学校の中だけでは見つけなかった「自分の新しい可能性」や「将来の夢のヒント」が、きっと地域のあちらこちらに転がっています。「なり得る最高の自分になる」ためのヒントを探してきてください。

来週、一回りも二回りもたくましく成長した皆さんと、この体育館で再会できることを楽しみにしています。